

刈谷市こども計画(案) 修正内容一覧表

資料2-1

No.	ページ	章	項目	意見	考え方
1	7～11	第2章 こども・子育てをとりまく現状	1 刈谷市の現状	全般的に「～になっています」の表現が多いと思いました。過去との変化について論じているのかな、と思いましたが、「になっている」を基本表現としているようです。すべてが「なっている」ではなく、「です」など、他の語尾も使い分けてはどうでしょうか。	【不採用】 データによる現状分析を行う際に、一般的な結びの表現として使用されますので、このままとさせていただきます。
2	12	第2章 こども・子育てをとりまく現状	1 刈谷市の現状	((5)保育園・幼稚園の状況について) 「核家族化」は、総世帯における核家族世帯の増加のことをさします。時期的には、1960年代を中心とする高度経済成長期に進行しました。それ以降は単身世帯の増加が世帯構成変動の大きなトレンドです。また、この文脈で「核家族化」を使うと、祖父母を子どもケアの担い手として想定するように読め、問題があります。（「核家族化」の語は他の箇所も注意してください。）	【採用】 本文中「核家族化の進行や」を削除いたします。 ※削除のみであるため、計画書(案)にマーカーは引いておりません。
3	26	第2章 こども・子育てをとりまく現状	3 ニーズ調査の結果と分析	((2)母親の就労状況について) 1行目「就学前・小学生いずれも7割程度」とあります。小学生は6割程度ですので、まとめてしまうのはやや乱暴かと思いました。	【採用】 「就学前は7割程度、小学生は6割程度」に本文を修正いたします。
4	88	第5章 量の見込みと確保方策	2 量の見込みと確保の内容	((13)子育て世帯訪問支援事業について) 量の見込みと確保目標を再計算する。	【採用】 ※内容は計画書(案)にてご確認ください。
5	89	第5章 量の見込みと確保方策	2 量の見込みと確保の内容	計画の表記を統一する観点から、「⑭児童育成支援拠点事業」及び「⑮親子関係形成支援事業」の表中「年間利用者数」を「利用者数」に修正する。	【採用】 ※内容は計画書(案)にてご確認ください。
6	90 91 92	第5章 量の見込みと確保方策	2 量の見込みと確保の内容	子ども・子育て支援法の改正に伴い、新たに次の3事業について追記する。 ・妊婦等包括相談支援事業 ・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度) ・産後ケア事業	【採用】 ⑯妊婦等包括相談支援事業、⑰乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)、⑱産後ケア事業を追加いたしました。 ※内容は計画書(案)にてご確認ください。
7	94	第5章 量の見込みと確保方策	3 教育・保育の一体的提供とその推進に関する体制の確保	((3)関係機関の連携による切れ目のない支援の実現について) 本文中「子ども」を「こども」に修正する。	【採用 ※字句等の整理のため、説明はいたしません。】 ※内容は計画書(案)にてご確認ください。